

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0446
施設名	きぼう保育園
施設所在地	葛飾区高砂2-3-7
法人名	社会福祉法人希望福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭に畑やプランター、土手などの自然がたくさんあり、苗を植えたり野菜を育てたり土手に行けば自然と触れ合える場所が豊富にある。

子供たちは、園庭で何も育てていないプランターを見て、何かを育ててみたい。ここに何かを植えたら育つかななど、興味関心を示していた為。

2. 活動スケジュール

6月 ・サツマイモを植える 泥に触れる

7.8.9月 水に触れる 虫探し

11月 サツマイモ収穫

12月、1月、2月、3月 土づくり 苗購入 苗植え 雪に触れる 雪を使用した活動

植物を毎日観察・水やり・収穫・試食

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

プランター、土、水、ジョウロ、肥料、苗、球根、種、シャベル、植物図鑑

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

植物を育てるために肥料などを入れ、土づくりを行った。図鑑で冬の時期に育つ植物について調べ何を植えるのかを話合う。また、話し合いで決まった物を苗が売っている場所まで買いに行った。買った苗や種をプランターに植え、毎日観察、水やりを行い植物の成長を確認した。

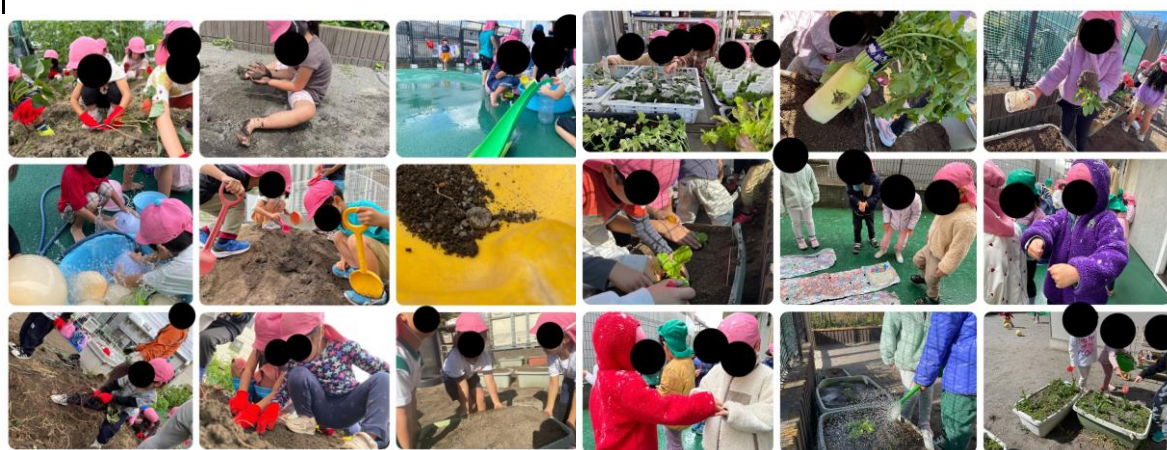
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

土づくりの際に、土の柔らかさについて注目をした。元々プランターに入っていた土は、とても硬く、シャベルで掘るのもやっとのことだった。だが、新しい土をプランターに入れるとふわふわで土の違いに気が付く。

育ち切った大根を苗を購入した店で見つけ、さらに大きくなるのではないかと考えるから購入し、プランターに植えた。だが、それ以上は育つことはなく、植物は種や苗などから育つことを知った。

雪に触れ、肌に当たると溶けるが、洋服についた雪は溶けずに残るという事から温度の違いを発見した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

土づくりにより、土の中にいる虫に興味関心を持ち始める。また、大人からしたら当たり前のことでも実際に経験し、観察することで気が付くことが多くあった。大人からの声かけだけでなく、子どもからの発見を大切に行きたいと思う。また、子どもたちは探求したいことに対しては日常会話の中で自然と話し合いが始まっていた。